

Special Evening

Part I Physical Theater DNA-Dance 'n' Algorithm 作曲・音楽監修:増田俊郎 振付:新上裕也

新上 裕也



東京都出身

1998年「Yellow Angel」に出演(熊川哲也と共演)。2005年「UZME」(愛知県芸術劇場)ファルフ・ルジマトフと共演。2006年東宝ミュージカル「ダンス・オブ・ヴァンパイア」(帝国劇場)ソリストとして出演。「渋谷アリス」(シアターコクーン)H・アール・カオスの公演など多数の舞台に出演。2004年演出作品「chaser」を香港ダンスフェスティバル「wing」をチリ、NYで発表。2007年「Dance Symphony」2008年「XXX」「Zoo」2009年「GQ」と国内外で数々の作品を発表し続けている。アートとエンターテインメントを絶妙なバランスで融合させる感覚は日本だけではなく海外でも高い評価を受けている。2010年9月上海万博/上海国際芸術祭記念 日中友好舞踊歌劇「木蘭〜ムーラン」では敵将役として黄豆豆と共演。2011年2月「GQ Gentleman Quality」の演出・振付を手掛け、ダンサーとしても出演。

風間 無限



東京都出身

父、保志克己の影響で踊りを始める。

10歳でモーリス・ベジャール氏振付、演出「M」の少年役を踊り、ベジャールの世界に触れる。また、牧阿佐美バレエ団「くるみ割り人形」のフリッツ役を、4年間務める。その後、東京バレエ学校ボーイズクラス第一期生となり溝下司朗氏、森田雅順氏に出会い師事。2002年第一回「文化庁新進芸術家国内研修生」に選ばれる。2003年「ABT Summer Intensive」スカラシップ賞、「Youth American Grand Prix」銀賞受賞。のち、ドイツ John Cranko-Schule にスカラシップ入学。ピョートル・ベストフ氏、タデウス・マタチ氏、サラ・アーベントロート氏に師事。卒業後、「New York International Ballet Competition」でファイナリストに選ばれる。2006年、アメリカオクラホマ州タルサバレエ団に入団。デミノイストとして、キャラクターのある踊りで観客を楽しませる。アメリカダンスマガジン Best of 2009 -Most hilarious performance- に選ばれる。2011年2月「GQ Gentleman Quality」に出演。

蔡 暁強 (サイ シャオチヤン)



中国湖北省武漢市出身

幼少期よりダンスを学び、1991年 武漢市芸術学校入学。1994年 中国社交ダンス全国大会ジュニアラテン部門第1位を受賞。その後、武漢市歌舞劇院を経て1999年 劇団四季「美女と野獣」北京公演に出演。2000年 劇団四季に入団。「ミュージカル李香蘭」「キャッツ」(ミストフェリーズ役で1100回以上出演)「ソング&ダンス2」「マンマ・ミーア！」などに出演。2006年劇団退団後「ダンス・オブ・ヴァンパイア」「キング・オブ・ザ・ブルー」等に出演。2010年10月宮本亜門版ミュージカル「Fantasticks」ではミュート役を演じる。2011年2月「GQ Gentleman Quality」に出演。アクロバティックなダンスを得意とし、ジャズダンスからコンテンポラリーダンス、タップ、シアタージャズと幅広いフィールドで活躍。

Part II 44Duos 44の二重奏

振付:Alessio Silvestrin 音楽:Béla Bartók

振付:Alessio Silvestrin (アレッシオ・シルヴェストリン)

Choreographer



1973年イタリア生まれ。モンテカルロ市グレース王妃ダンスクラシック・アカデミー、ルードラ・ベジャール・ローザンヌを卒業後、ベジャール・バレエ・ローザンヌ、リヨン・オペラ座バレエにて、ダンサーおよび振付家として活躍。1999年から2002年にかけて、ウィリアム・フォーサイス率いるフランクフルトバレエ団に所属。その後もフォーサイスカンパニーのゲストアーティストとして活躍している。作曲家フランチェスコ・ヴァルダンブリーニの指導で、トリコルダール(Tricordale)音楽という新楽派に加わり、フィボナッチ数列に基づくセリー体系を拡張して自ら作曲した音楽は自身の振付作品にも使用している。

2003年より日本を拠点にフリーランスアーティストとして、さまざまな活動に関わる。愛知芸術文化センター、新国立劇場、山口情報芸術センター、セルリアンタワー能楽堂などの委託により作品を制作。国際的なダンスフェスティバルでの招待パフォーマンスや、様々なアーティストとのコラボレーションも行う。Noismでは、2005年の『Triple Bill』にて、『DOOR INDOOR』を振付。2011年、恵比寿映像際にてダニエル・ワイルド+アルバロ・カシネリによるダンスデモンストレーション『見えないスカートと想像上のものたち』を振付、出演。Noism1『折り目の上』の振付、作曲を手掛ける。

横関 雄一郎



山本禮子バレエ研究所で学ぶ。関田和代に師事。

第12回全日本バレエコンクールジュニア部 入賞2位。第26回ローザンヌ国際バレエコンクール スカラシップ賞を1位受賞し、ドイツ・ハンブルグ・バレエスクールに留学。ラディック・ザリポフ、ケヴィン・ヘーゲンに師事。ノイマイヤーのモーツァルト338、春の祭典、スプリング&フォール、ヨングリグなどを踊る。2000年 ウヴェ・ショルツ率いるライプツィヒバレエ団(ドイツ)に入団。2002/2003シーズンより、20歳の若さでソリストに昇格。以後、ウヴェ・ショルツと共に同バレエ団で活躍。

レパトリーには古典バレエをはじめ、ピエール・ボレーズのノーテーション、アントン・ブルクナーのブルクナー8、ベートーヴェンのセブンス・シンフォニー、メンデルスゾーンのオクテット、ハイドンの天地創造、ラフマニノフのピアノ協奏曲、バッハからH-moll メッセ、モーツァルトのグローセ・メッセ、ベルリオーズの幻想交響曲など多数で、バランシン、キリアン、バモシュなどの振付家作品も幅広く踊る。音楽は主にゲヴァントハウス・オーケストラやトーマス合唱団と共演。ベルリン・ドイツ・オペラ、ローザンヌ・ガラ等にもゲスト出演し、チューリッヒ・バレエなどの、作品の指導にもあたる。ウヴェ・ショルツの死後退団し帰国。2009年、渋谷セルリアン能楽堂では本公演振付家、アレッシオ・シルヴェストリンの作品「kakekotoba」で、シルヴェストリンや能の津村禮次郎と共演。同年、中村恩恵のデュオ作品「Symphony of Sorrowful Songs」、シルヴェストリンのデュオ作品「譜と風景」に初演。2010年、首藤康之演出の古典バレエ「くるみ割り人形」に主演。その他、新上裕也、TETSU HARU 演出・振付のGQ、服部有吉演出・振付の「ラプソディ・イン・ブルー」や、国内外のガラなどにも出演。現在日本を拠点に 国内外で活躍中。2001年常盤高等学校バレエ科卒業。鍛え抜かれた強靱な身体と研ぎ澄まされた感性による深みのある表現力で多くの人を魅了する。

吉本 真悟



10歳より本多恵子バレエ学園にてバレエを始める。

1995年日本人男性として初めてフランス国立パリオペラ座バレエ学校に入学、パリオペラ座「デフィレ」に出演。

98年ジャクソン国際バレエ・コンクールでのスカラシップ賞受賞に続き、第18回ブルガリア・ヴァルナ国際バレエ・コンクール男性ジュニアの部で金賞を受賞。99年渡米、クレーブランド・サンホセバレエ団にプリンシパルとして在籍。2004年よりヒューストンバレエ団でソリストとして活躍。克蘭コ「クオネーギン」、バランシン「テーマとヴァリエーション」、ロビンス「音楽会」、キリアン「忘れられた土地」をはじめM・モリス、H・V・マーネン、S・ウェルシュなどによる作品を踊る。07年、日本に帰国。10年、新国立劇場2010年シーズン ストラヴィンスキー・イブニング 平山素子「兵士の物語」では兵士役を踊る。

2011年2月「GQ Gentlemen Quality」に出演。正確なテクニックと誠実な表現力で高い評価を得ている。

[STAFF] ◆舞台監督:柴崎大 ◆照明:森規幸(balance,inc.DESING) ◆音響:ヨシモトシヤ(comestock)

Supported by FREDDY 後援:DDD 協賛:青山ベルコモンズ 協力:青山ダンシング・スクエア 主催 CSB International

お問合せ CSB International Tel:03-6804-2236(平日 11:00~18:00)Mail:csb@csb-international.jp http://csb-international.info/